

令和3年度 大阪府立高槻北高等学校 第1回学校運営協議会 書面開催議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和3年7月30日(金)
開催場所	書面開催
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲副会長、丹家 敬委員、栗原 綾委員、石山浩二委員、 柏原泰和委員
出席者(学校)	校長を中心に事務局が協力して、委員と電話・メールで協議した。
傍聴者	なし
協議資料	令和3年度学校経営計画および評価(案) 令和2年度学校経営計画および評価(案) 入試合格状況
備考	

議題等(次第順)
1. 学校経営計画について 2. 入試合格状況関係 3. 学校教育自己診断について 4. 意見書について

1. 学校経営計画について

- (1) 昨年度の学校評価結果について、目標数値設定が高いにもかかわらず、達成した項目が多く素晴らしい。
- (2) 今年度はそれを維持したり、さらに上をめざす項目もありますが、昨年度と同じ取り組みで維持や向上が可能と考えているのか、さらなる特別な取り組みが計画されているのかが気になりました。
- (3) 「安全・安心で意欲的な学校生活の推進」の「具体の取り組み」として、「献血活動の啓発」とあることに小学校にはない発想で正直驚いた。小学校では「自分」の命を守ることを中心として、そこから範囲を広げたとしても「周り(知っている人)の命を守る」ことまでと考えています。高校生は「誰かも知らない、すべての人の命を守る」ための活動とすることと、自分の身を挺する活動と結びつけることに発達段階の違いを感じた。小学校バージョン、中学校バージョン、高校バージョン、・・・大学バージョンまで、安全・安心教育に係る系統性を並べられたら、本校としては参考になるだろうと考えた。
- (4) 「学力・進学保障」について・・・3年生の「研究授業」の充実について実現してほしい。教科内はもとよりチームでの相互研究の成果を教職員全体に還元されると効果があると思う。
 - ・教志コースの進路として「特別推薦枠2名」を実現していただきたい。
⇒今年度は1名でした。共通テストの受験が必要なことを早い時期から周知し、推薦候補者を増やしたい。
 - ・教志コースの質的な向上のため、北高の卒業生で「教員」になっている先輩を学校に招き、講演や共同授業などをぜひ実現してほしい。(＝教志コースの学習の工夫改善を積み重ねること)
(例)現役教員の「実践講座」、北高の現役教員の「教員になるまでの話」などの講座を設定し、教師という職業について興味・関心、教職への意欲を高めてほしい。
⇒ 貴重なご意見ありがとうございます。本校卒業生の教員も本校内外に多くいますので、ご協力いただきプログラムに挿入できるように努めます。
 - ・優れた実務提要管理の電子データ化、ICTの積極的な活用、新任・若手の教師力の向上は重要な課題であり、若手の自主的な研修会や小中授業研究と教科の専門性に関する指導力の向上など、個々の教員に具体的な目標設定をさせ、校長面談などにおいて丁寧かつ厳しい検証の場を設けていただきたい。
- (5) 令和3年度の2.中期的目標の1-(2)-ア「～、入学時の進路目標を変更させることなく、実現に向けて取り組ませる」というのは、目標を堅持する(下げない)という意味ではよいことだと思う。しかし、在学中に(たとえ偏差値が下がったとしても)納得できる別の道を見出すこともあるかもしれない。このため、「進路目標の実現に向けて取り組ませる」くらいでとどめておいてはいいかが。
- (6) 1-(2)の※1番目の「平日の授業以外の学習時間」について、1年生80分以上、2年生90分以上、3年生260分以上と、前年度に比較して増加しています。1,2年生の目標値の+20の増分は可能かもしれない。しかし、3年生の180分(R4)から260分(R5)の+80分の増分を可能とする具体的な腹案をお持ちでしょうか。授業の中で宿題を課すことも一つの方法だと考える。このことは数年前に会議で申し上げましたが、その時は宿題をほぼ課していないという回答をいただいたことを記憶している。
- (7) 3-2の規範意識の向上(1)のイ・・・自転車に関するマナー意識の向上は95%ですが、自転車事故の保健室利用が54件では多いのではないかと。事故防止に向けた一層の具体策が必要では。
⇒事故にはならず自転車で転倒した件数がほとんどである。

2. 入試合格状況関係

- (1) 大学進学実績をみると関関同立、産近甲龍などの進学者が多い。関西大学、立命館大学などの合格者が増えた要因は何か。
⇒ 本校生は、関関同立志向が強い。その中でも、地元の2大学が根強い人気がある。
- (2) 国公立大学の進学者はもっと増えてもいいのではないか。カリキュラムの編成や進路指導など様々な課題があると思いますが、ぜひ目標値を実現してほしい。
- (3) 国公立大学の合格者数も徐々に増え、私立大学も関関同立・産近甲龍の合格者数が飛躍的に増加しており、大変すばらしい進学実績です。校長先生、教頭先生をはじめとする先生方、事務方のご指導の賜物として表れていることを実感します。

- (4) 国公立大学の合格者数も徐々に増え、私立大学も関関同立・産近甲龍の合格者数が飛躍的に増加しており、大変すばらしい進学実績です。校長先生、教頭先生をはじめとする先生方、事務方のご指導の賜物として表れていることを実感します。

3. 学校教育自己診断について

- (1) 「学校に行くのが楽しい」生徒の比率が85%以上は素晴らしい。学校の何が楽しいのか？「文武両立」「学校行事」「部活動」それ以外など、その内容を検討し、学校改善に生かしてほしい。
- (2) 生徒向け学校教育自己診断における学校生活の満足度の肯定的な回答について注視したいと思う。
⇒ 同意見です。
- (3) 「学校教育自己診断(生徒用)」はQRコードが付いていてウェブで回答できるのは、生徒による回答時の利便性や、集計時の効率性を考えると、とても良い方法だと思う。
⇒ 活用2年目となり、定着に向かっていきます。
- (4) 「授業アンケート(1年生)」については、対象が1年生なのでウェブでの回答は難しいでしょうか。
⇒ 授業アンケートについては、個人情報保護の観点で難しいという回答になります。

4. 意見書について

- (1) 文化祭や体育祭の映像配信について
- ① 環境を整えて実現に向けてほしい。(一部実現中は確認)
 - ② 体育祭・文化祭への保護者観覧でコロナ対策をしっかりしたうえでの実現を願う。
 - ③ コロナ対策として、校内への立入制限は必要なことと思う。この保護者もその点は理解されていると思う。行事への参観、公開は今年度の判断(3年のみ可)でよいと思う。
 - ④ この意見書を見て、高校生の保護者が体育祭の参観を非常に楽しみにしていることがわかった。小学校では、運動会の日に学年ごとに保護者の入れ替えを行っての参観を考えている。今の状況(緊急事態宣言)が続くのであれば、閲覧者と期間を限定した動画のアップができないかと考えている。ライブ配信は、動画が固まって止まってしまうことがあると聞いたことがあるので、動画配信をするのであれば、録画配信を考えている。
- ⑤ 1)体育祭のライブ配信、および、2)全応援団の映像を北高ホームページへの掲載(PW付保護者ページ)、3)1,2年生応援団員保護者の観覧許可について
- 1) 体育祭のライブ配信はYouTube等の動画共有サイトへ限定公開することによって技術的に可能ですが、a)撮影・配信の機材コスト、b)撮影・配信の人的コスト、c)セキュリティの担保などが確保できることが前提です。まず、コストについてですが、a)体育祭のライブ配信には、複数台の撮影機材(カメラ、マイク、電源等)、配信用機材(パソコン、ビデオスイッチャ等)が必要となり、結構な金額になります。そして、安定的に接続できる有線ネットワーク環境も必要です。また、b)撮影と配信にあたるチームが必要です。このようなスタッフは外注せざるを得ないと思われます。これらa)b)のコストを支払うことができれば可能だと考えられます。さらに、c)YouTubeへの限定公開は、リンク先を知っていれば、だれでも閲覧可能になります。この程度のセキュリティレベルで構わなければ実現可能です。オンデマンド配信であれば、b)の負担は撮影のみなので若干軽減されるでしょう。
- 2) ライブ配信後はオンデマンド配信に自動的に切り替えられるので、ライブ配信ができれば技術的には可能です。しかし、(1)で述べたコストを賄う予算があるかどうかです。
- 3) 応援団員の保護者のみに限って観覧を許可することは、他の保護者から不満の声が挙がるのが容易に予想されます。したがって、例外なくすべての観客を入れるべきではないと考えます。
- (2) 3年生のクラブの引退の時期等について
- ① 各クラブの引退時期は戦力的な面、各生徒の家庭事情を考えながら、個人の意見を踏まえ話し合いをする必要があると考える。
 - ② クラブに参加している生徒は皆前向きで、活動をやり遂げる強い意志を持つ子ども達であると思う。進路も大事ですが、人間性や協調性を大切に育てていってあげてほしい。
 - ③ クラブの引退については、クラブごとに大会時期や活動内容が異なるので、一律同時期に引退するのは難しいだろうと思う。しかし、サッカー部のように受験勉強を優先したい生徒は退部というのはきっと理由があるのであるが、そこだけ聞いているととても残念な措置に感じる。3年近く頑張ってきている生徒たちに任せたり選択できたりするのが良いかと思いました。大きな大会前にチーム内でミーティングをして決めるという話も聞いたことがある。大会の勝利や大学への進学など、それぞれの思い描いた将来がかかっていることなので、それぞれのクラブで生徒たちが悔やまない選択ができるような対応をしてほしいと思う。

- ④ 部員の意思が尊重されずに、部の顧問やコーチが部員を引退させずに部活動を強要しているのであれば、問題があると思います。もし、1つでもそのような部が存在するのであれば、学校側で一斉引退をルール化して、生徒の意思で引退と継続を選べるようにするのも一つの方法だと思います。高校生の本分は学業なので、生徒が受験勉強に専念したい気持ちを尊重したいところです。
- ⑤ 今の時代、保護者の過保護、過干渉を感じます。こどもの未来に向けて、親の子離れ、心を離さずということに対して心配しています。

以上

次回の会議日程

日時	令和3年12月2日(木)15:00～
会場	府立高槻北高等学校 2階 会議室